

事務事業評価シート1 (一般事業)

1 基本情報

事業番号		0116/201010/17/00		事業の種類	1	
年度	20	事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業	作成日	重要度	5
予算事業名	リサイクルセンター管理運営事業		担当課名	環境課		
政策名	環境にやさしい、うるおいのあるまちづくり					
施策名	廃棄物処理		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規	相生市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市全市民				
	誰(何)を対象として	相生市全市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正なごみの分別により安全で安心したごみ処理施設となる。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		資源ごみの中間処理事業				
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	資源ごみ搬入量	t	2,111	2,013	1,594	1,560
	リサイクル量	t	2,471	2,389	1,912	2,000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.085	78.7	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	5.000	4.000	80.0	2.000	50.0	3.000	150.0	
	臨時職員	0.000	0.000	-	1.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	43,918,584	35,543,585	80.9	20,052,162	56.4	26,201,664	130.7	
	事業費	8,897,296	8,277,097	93.0	7,552,618	91.2	5,614,000	74.3	
	合計	52,815,880	43,820,682	83.0	27,604,780	63.0	31,815,664	115.3	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	52,815,880	43,820,682	83.0	27,604,780	63.0	31,815,664	115.3	
	合計	52,815,880	43,820,682	83.0	27,604,780	63.0	31,815,664	115.3	

4 評価指標

[有効性]

指標名1		リサイクル率							
指標説明(式)		資源化量 ÷ 総処理量							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
%	目標	20	21	105.0	20	92.9	20	102.6	
	実績	21	20	97.6	17	82.6			
指標名2		量販店・公民館等による拠点回収							
指標説明(式)		回収量							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
t	目標	210	250	119.0	250	100.0	200	80.0	
	実績	225	197	87.6	182	92.4			

[効率性]

指標名1		資源ごみ1kgに係る処理経費							
指標説明(式)		処理費 ÷ 資源ごみ搬入量(t)							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	23	21	91.3	24	112.4	23	97.9	
指標名2		新聞売却							
指標説明(式)		新聞売却単価(税抜き)							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	10	12	115.4	12	100.0	12	100.0	

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
有効性	成果目標(改善)達成度	ごみの分別、資源ごみの再利用と啓発を行ってはいるが、なかなかリサイクル率の向上に至らない。	5	5
	市民サービス	資源ごみの回収は月1回のため量販店等による拠点の整備を図り市民サービスに努めていることで、拠点による回収量も増加している。		
効率性	コストの節減	事業系ごみ分別の徹底を図りコスト削減に努める。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	資源ごみの回収について、2重投資とも思われる物もあり、回収方法の見直しの検討が必要。

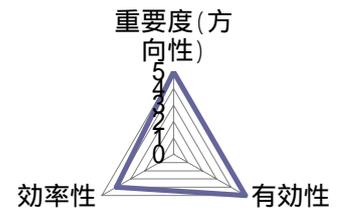
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた21年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	分別の徹底を図り、資源ごみの売却収入増により、処理経費充当によるコストの削減に努める。
H20	H21予算反映額	-3,048,000

(2) ヒアリング時指摘事項

--	--



検討の有無	-
総合指標	19